

平成22年7月「厚生労働省政策コンテスト」資料

“実際に役立つ” 社会保障制度の教育推進をめざす

2010.7 厚生労働省政策コンテスト

近畿厚生局 年金調整課 森崎 真優美
中浜 裕司
服部 弘樹

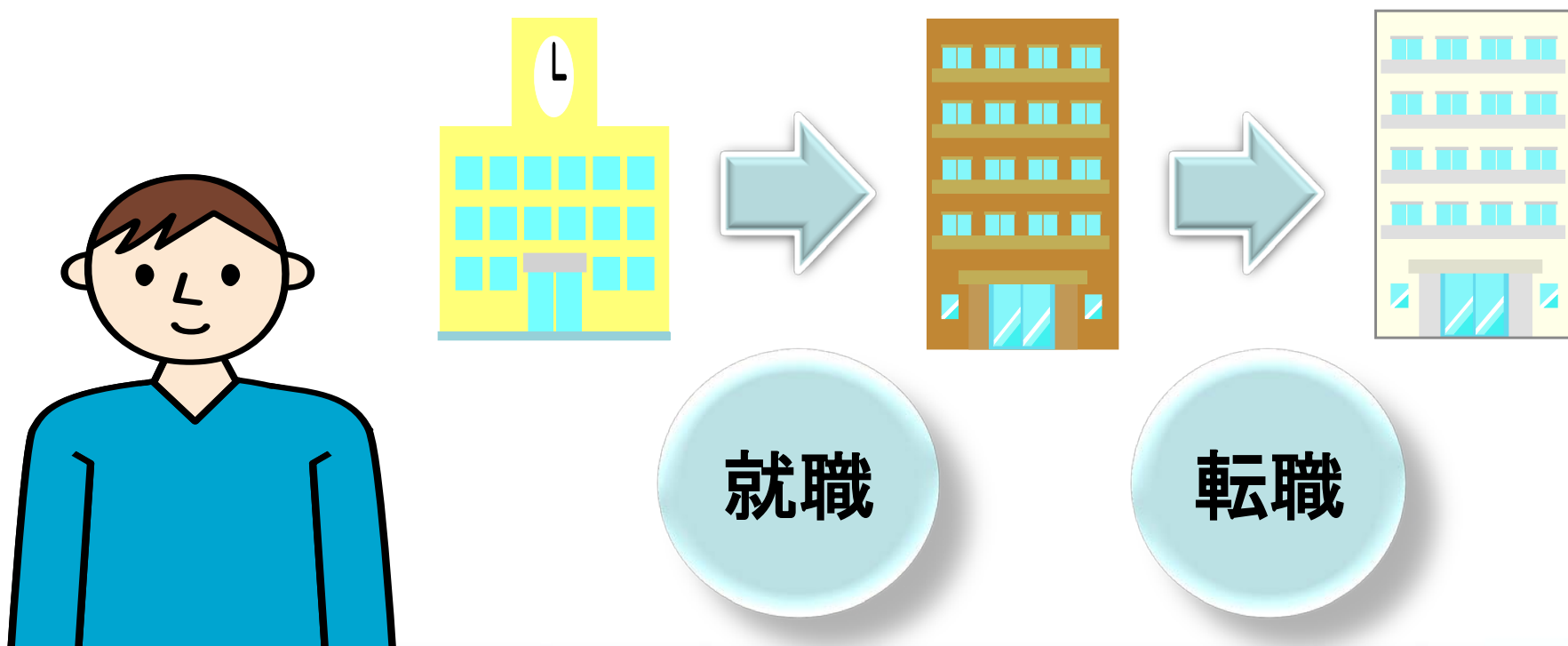
目次

- ◆政策の目的
- ◆概要
- ◆政策の最終目標
- ◆政策実現に向けて
- ◆最後に

政策の目的

社会保障制度に関する知識の習得や制度へのより深い理解に資するため、学校教育における社会保障制度の教育推進を図ることを目的とします

“実際に役立つ”社会保障制度の教育推進をめざす



社会保障制度

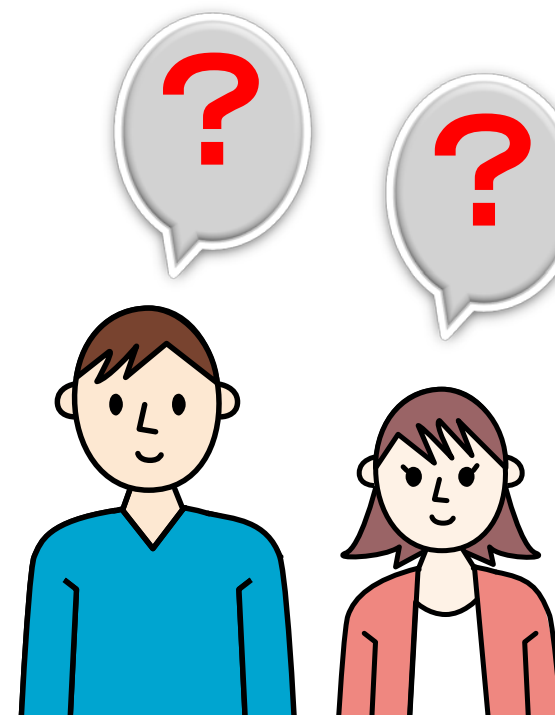
年金

健康保険

雇用保険

労災保険

その他各種制度





学校で!

社会保障制度

年金

健康保険

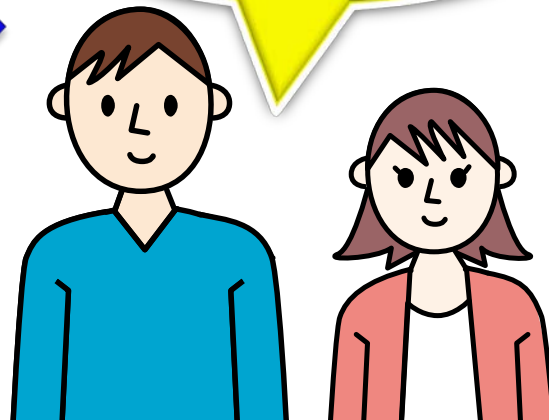
雇用保険

労災保険

その他各種制度



なるほど



効果



手続き・制度への理解

国民生活の安定

制度の安定的な運営

政策の最終目標

社会保障制度 に関する教育



学校教育での指導事項化

学校教育での指導事項化

<メリット>

- 全国統一的に実施可能
- 実施規模が拡大すれば、事務及び費用面で最も効率的

学校教育での指導事項化への課題

- 社会保障制度の内容が多岐にわたっており、先生方の疑問や不安を解消する体制が必要
- 法律改正等により、授業内容や教材の見直しが随時必要



段階的な実施により、体制を確立する

政策実現に向けて

□ 段階的な実施

地域を限定した試験実施



全国的に実施



学校教育での指導事項化

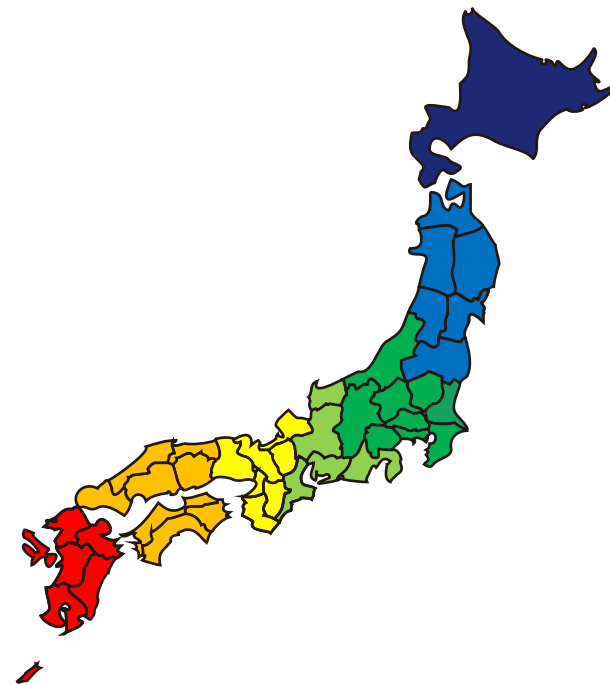
政策実現に向けて

□ 試験実施の方法

- ・エリアを限定し、試験的に実施
- ・講師派遣(セミナー形式)による



全国実施



政策実現に向けて

- 試験実施での検証課題
 - 費用及び効果の検証
 - 授業内容・教材の検証

投入資源（試験実施）

□ 必要人員

職員3～4名程度

年金、健康保険、労働保険関係等、各分野からの職員により組織されることが望ましい

□ 予算

上記人員に係る人件費、旅費等

資料作成に要する費用(パソコン使用)他

最後に

より多くの若い世代に、社会保障制度について理解を深めていただき、自分たちの将来のため必要不可欠な社会保障制度に興味を抱いてほしいという思いから、この提案をさせていただきました。

この提案の最後として、平成21年12月に実施された年金教室の授業の感想をご紹介します。

年金がとても大切なものだということがわかった。
ニュースなどでとても問題になって少し不安がありました
りましたが、今日の話聞いて安心しました。

僕は長生きして65歳からも楽しく過ごしたいので、
しっかり納めていきたいと思えます。

知っているのと知らないのとではこれからの
人生でだいぶ違っているなあと感じました。

年金は年をとってから貰うだけのものと思っていましたが、そうではないという事がわかりました。

また、自分たちの生活や未来を支える大切なものだということもわかりました。

まだ、自分が年金をもらう時のことは考えられませんが、働きだしたら親と少し話してみようと思います。